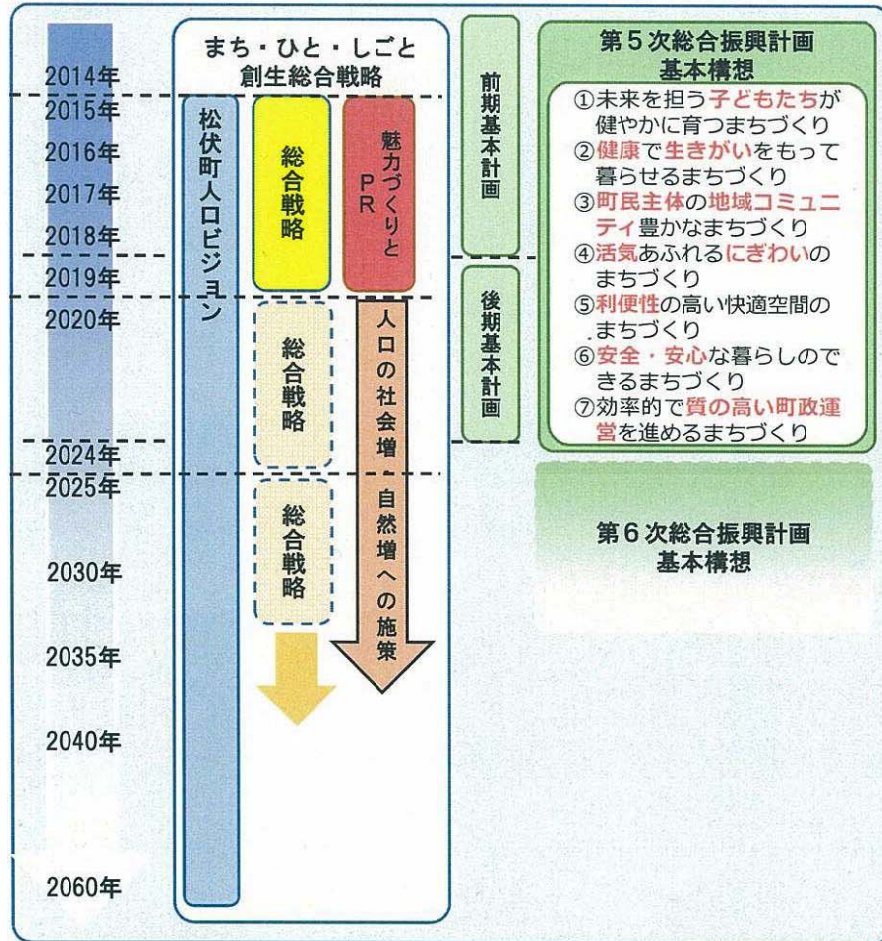


松伏町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

松伏町

松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方 (本編p.1-9)

総合戦略の位置付け



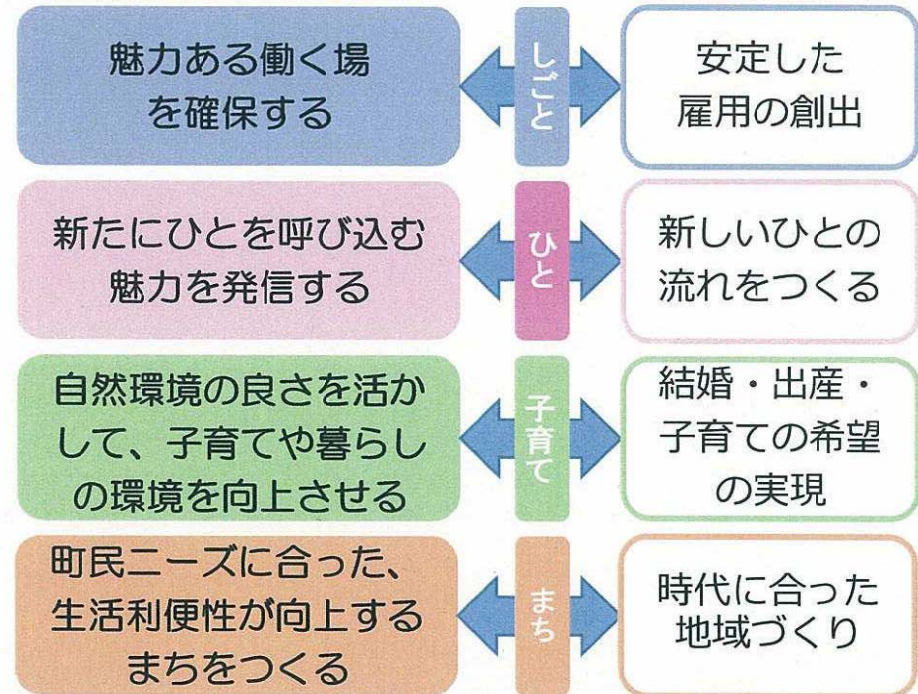
5か年戦略の基本理念

交流人口を増やす魅力づくりと
町民満足度の向上

総合戦略の基本目標

＜松伏町 総合戦略＞

＜国の総合戦略＞



本町では、短中期的な期間で総合的な町の取り組みを示す「総合振興計画」と、長期的な展望を示す「人口ビジョン」、人口減少等への今後5年間の対応に焦点を当てた短期的な戦略を示す「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」によって、戦略的な町の創生を図ります。

総合戦略の基本目標と施策展開①(本編 p.10-12)

しごと

魅力ある働く場を確保する

労働環境を向上し、多様な働き方の実現によって、雇用の場の選択肢を広げることと、町内の企業の活性化及び町外からの企業の呼び込みにより、魅力ある雇用の場づくりを戦略的に取組みます。

<基本目標に対する数値目標>

○町民意識調査による「通勤・通学の利便性」に関する町民の満足度の割合

(平成27年: 19.3%→平成31年: 25.0%)

○町民意識調査による「働く場所が限られている」を転出したい理由に挙げる町民の割合

(平成27年: 23.1%→平成31年: 20.0%)

施策	事業名	連携主体
労働環境の向上支援 【5か年の重要業績評価指標 (KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯保育料軽減事業により補助を行う児童数 (24人) ・該当事業により支援した企業数の合計実績 (平成31年までの5年間で20件) ・埼玉県「多様な働き方実践企業認定制度」に認定された町内企業数 (平成27年: 13件→平成31年: 20件) 	多子世帯保育料軽減事業 (先行型)	官
	育児休業給付制度利用奨励事業	労
	「多様な働き方実践企業」認定推進事業	官・労・金
	子育て応援企業支援事業	官
	転入勤労者支援事業	産・労・金
企業の支援と誘致 【5か年の重要業績評価指標 (KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所への来場者数 (平成27年6月～平成28年3月: 21,000人) ・該当事業による企業誘致相談件数 (平成31年までの5年間で4件) ・該当事業による創業相談件数 (平成31年までの5年間で20件) ・インターン受け入れ企業数 (平成31年までの5年間までに15社) 	地産地消促進事業 (先行型)	産
	新市街地整備促進事業	産・官・労・金
	企業誘致推進事業	産・官・労・金
	地域資源を活用した特産品開発事業	産・学・言
	創業支援事業	産・官・金
	インターンシップ受け入れ推進事業	産・学・労

総合戦略の基本目標と施策展開②(本編 p.13-15)

ひと

新たにひとを呼び込む魅力を発信する

町外から新たにひとを呼び込むために、ひとを惹きつける魅力を創出し、それを内外に発信することで、交流人口の増加とその定住化を狙います。

<基本目標に対する数値目標(例)>

- 町内人口の純移動数(平成26年:-145人→平成31年:±0)
- 年間平均滞在人口(平成27年:56,617人→平成31年:57,000人)

施策	事業名	連携主体
地域の特産品開発とPR 【5か年の重要業績評価指標(KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の調査研究を踏まえた民間バス事業者への説明件数(2社) ・本年度の調査研究を踏まえた企業への説明件数(企業誘致促進のため)(2社) ・イベントの合計開催回数(平成31年までの5年間で3回) ・イベントの合計参加者数(平成31年までの5年間で50人) ・該当事業により開発した商品数(2件) 	地域公共交通資源と「道の駅」の制度を活用した公共交通強化事業(先行型)	産・官・金
	グリーンツーリズム促進事業	産・学・言
	地域資源を活用した特産品開発事業(再掲)	産・学・言
転入しやすい環境づくり 【5か年の重要業績評価指標(KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・転入アンケートによる永住意向の割合(平成27年:62.2%→平成31年:70.0%) ・該当事業による合計助成件数(平成31年までの5年間で25件) 	北部地域居住促進事業	官
	新市街地整備促進事業(再掲)	産・官・労・金
	企業誘致推進事業(再掲)	産・官・労・金
	子育て世帯リフォーム・リノベーション促進事業	官・金
	転入勤労者支援事業(再掲)	産・労・金

総合戦略の基本目標と施策展開③(本編 p.16-19)

子育て

自然環境の良さを活かして、子育てや暮らしの環境を向上させる
 子育て環境を充実させることにより、安心して子供を産み、育て、暮らせるようにすること、そしてその良好な環境を本町へのファミリー層の定着と呼び込みにつなげることを狙います。

<基本目標に対する数値目標(例)>

- 町民意識調査による「子育て環境」に関する町民の満足度の割合(平成27年:56.2%→平成31年:65.0%)
- 町民意識調査による「子どもの教育環境」に関する町民の満足度の割合(平成27年:48.0%→平成31年:55.0%)

施策	事業名	連携主体
松伏町の特色を活かした教育環境の充実 【5か年の重要業績評価指標 (KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ICTの活用により授業がよりわかると思う児童・生徒の割合(80%) イベントの合計実施回数(平成31年までの5年間で20回) イベントの合計参加者数(平成31年までの5年間で1,000人) 	ICT教育推進事業	学
	小規模特認校制度の導入事業	学
	松伏っ子わくわく体験教室実施事業	学
	食育推進イベント事業	学
	"はたらくおじさんおばさんとおしごとたいけん!"事業	産・官・学
子育て世帯への支援 【5か年の重要業績評価指標 (KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> 各種イベントにおける普及啓発ブースへの子育て親子の来場者数(本年度:500人) 多子世帯保育料軽減事業により補助を行う児童数(24人) 該当事業により助成を行う合計件数(平成31年までの5年間で50件) 	グリーンツーリズム促進事業(再掲)	産・学・言
	親子で学ぶ防災知識普及啓発事業(先行型)	官
	多子世帯保育料軽減事業(先行型)(再掲)	官
	育児休業給付制度利用奨励事業(再掲)	労
	子育て応援企業支援事業(再掲)	官
	子育て世帯リフォーム・リノベーション促進事業(再掲)	官・金
	育児休業給付制度利用奨励事業(再掲)	労
多世代交流の場づくり 【5か年の重要業績評価指標 (KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> 子どもとの距離が縮まったと感じる人の割合(事業参加前と比べて増やす) 児童(0歳から18歳まで)の施設来館者数(本年度:1,500人) 	公共交通支援事業	官
	北部拠点活性化事業(先行型)	官
	"笑顔で子育て"ふれあい健康づくり事業(先行型)	官
	地域多世代交流サロン設置支援事業	学

総合戦略の基本目標と施策展開(本編 p.20-22)

まち

町民ニーズに合った、生活利便性が向上するまちをつくる

町域北部と、整備中の主要道路の結節点周辺を拠点として本町の弱みを補う事業を展開し、より快適に暮らせるまちづくりを目指します。

<基本目標に対する数値目標(例)>

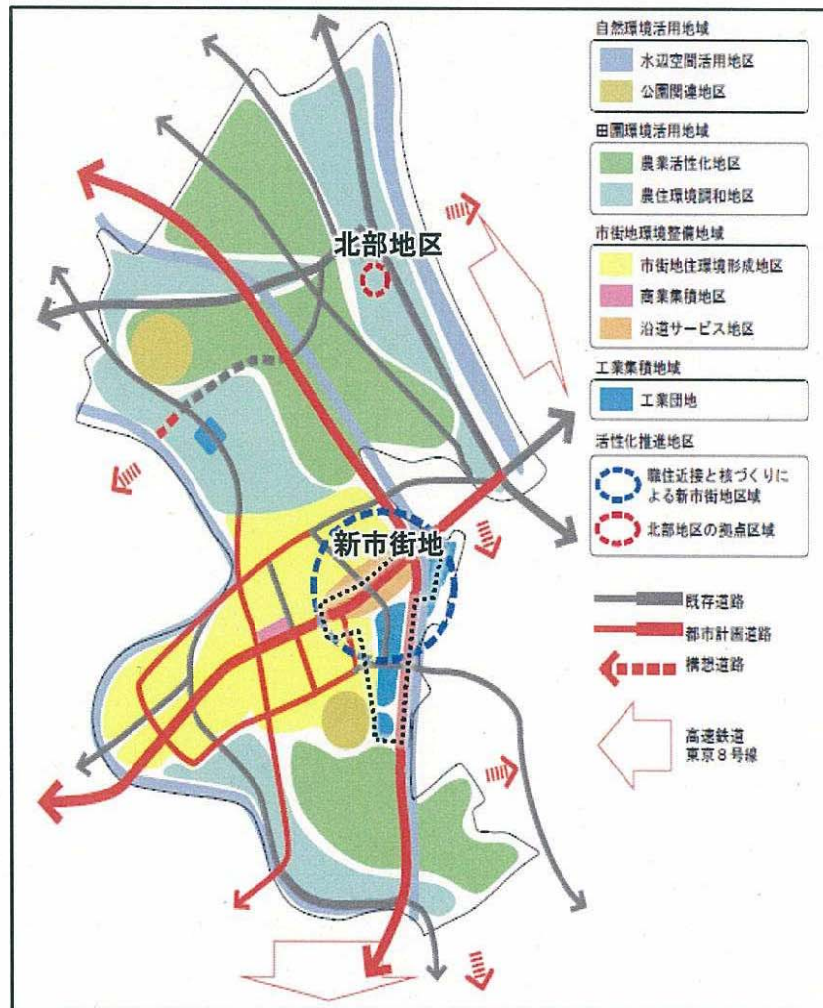
○町民意識調査による「公共施設の整備」に関する町民の満足度の割合(平成27年:56.2%→平成31年:65.0%)

○町民意識調査による「行政サービス」に関する町民の満足度の割合(平成27年:36.1%→平成31年:40.0%)

施策	事業名	連携主体
新たな拠点形成の推進 【5か年の重要業績評価指標(KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・児童(0歳から18歳まで)の施設来館者数(1,500人) ・農産物直売所への来場者数 (平成27年6月～平成28年3月:21,000人) 	北部拠点活性化事業(先行型)(再掲)	官
	地産地消促進事業(先行型)(再掲)	産
	北部地域居住促進事業(再掲)	官
	地域多世代交流サロン設置支援事業(再掲)	学
交通基盤整備の推進 【5か年の重要業績評価指標(KPI)】 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の調査研究を踏まえた民間バス事業者への説明件数(2社) ・本年度の調査研究を踏まえた企業への説明件数(企業誘致促進のため)(2社) ・調査検討結果を活用した事業計画立案件数(平成31年までの5年間で3件) 	地域公共交通資源と「道の駅」の制度を活用した公共交通強化事業(先行型)(再掲)	産・官・金
	新市街地整備促進事業(再掲)	産・官・労・金
	企業誘致推進事業(再掲)	産・官・労・金
	公共交通支援事業(再掲)	官
	交通実態調査事業	官

土地利用構想に関する重点施策(本編 p.23-27)

土地利用構想図(第5次総合振興計画より)



①新市街地整備プロジェクト

(都) 東埼玉道路と(都) 浦和野田線が結節する松伏インターチェンジ周辺を、「職住近接と核づくりによる新市街地区域」として位置づけ、職住近接をめざした新たな人口増加の受け皿とともに新たな雇用の場を創出する産業集積を進めていきます。

- 産業系土地利用の推進に向けた新市街地整備構想の検討
- 新たな町のシンボルとなりコミュニティの要となる核拠点の創出
- 工業集積地域の整備促進

②まつぶし北部活性化プロジェクト

老人福祉センターとその周辺地域を「北部地区の拠点」として位置付け、多くの町民が集える憩いの場としての機能を充実させ、地域の活性化を図ります。

- 行政サービスの拡充及び多くの住民が交流する機会の提供
- 北部地区の活性化の推進及び利便性の向上に向けた取り組み
- 北部地域への居住促進
- ICT教育の推進・小規模特認校の検討

第5次総合振興計画における土地利用構想は、流入人口の受け皿の観点からも大変重要であることから、本総合戦略においても、土地利用構想に関する重点施策として位置づけます。

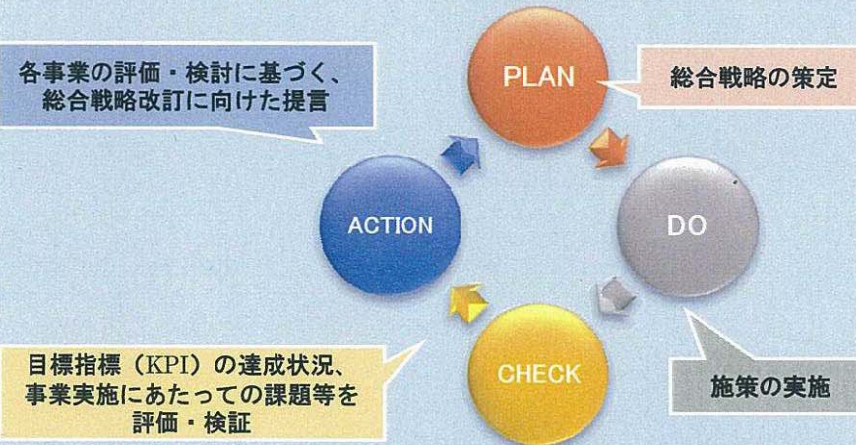
総合戦略推進にあたっての視点と 6年目以降の方向性(本編p.28-29)

総合戦略推進にあたっての視点

産官学金労言住との連携

P D C Aサイクルによる進行の管理

「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」による進行の管理
産・官・学・金・労・言・住



6年目以降の方向性

- ・ 町民の転出の歯止めと子育て世代を中心とした新たな転入の呼び込み
- ・ 学生世代が、町の魅力を感じ、定住してもらえるような施策の推進
- ・ 実家に若い家族を呼び、松伏町での同居を促し、子育て支援と高齢世代への魅力ある施策の推進
- ・ 県や近隣市と連携し、交流人口の増加を促進

総合戦略を進めていくうえでは、「産官学金労言住との連携」や「P D C Aサイクルによる進行の管理」の視点を重視していきます。また6年目以降は総合戦略の流れを受け継いだ方向性に基づくまちづくりに取り組みます。